



闘牛、フラメンコ、降り注ぐ太陽、白い家など、日本人の描くスペインのイメージそのものであるセビリャ。スペイン南部に位置するアンダルシア州の州都であり、また世界中から毎年多くの観光客が訪れるスペインきっての観光地でもあります。今号のacueductoでは、毎年、4月に行われる春祭り（フェリア）、闘牛、歴史や音楽のみならず、近年注目を浴びているオレオトゥーリスモ（オリーブの旅）まで、セビリャの魅力をたっぷりお楽しみ下さい！

特集

春祭りの都市、セビリャ

SEVILLA



セビリヤ、楽しさ溢れる街

Sevilla, ciudad alegre

La ciudad de Sevilla enamora por su gente, que es abierta y hospitalaria y que sabe disfrutar y compartir cada momento. Sevilla es historia, monumento y cultura, crisol de las civilizaciones que se asentaron junto al río Guadalquivir. Sevilla es tradición y modernidad, una ciudad con un futuro prometedor, lugar de encuentro, convivencia y tolerancia.

Somos el tercer destino turístico urbano de España. El buen clima, la rica gastronomía, la belleza de sus calles y rincones, sus tradiciones y el flamenco, que se siente a cada paso, atraen a gente de todo el mundo, como el samurái japonés Hasekura Tsunenaga, que allá por el año 1614 se sintió atraído por Sevilla llegando a ella a través de su río en una expedición única procedente de Japón. Su misión era llegar a Madrid para visitar al rey Felipe III, pero antes tenían que resolver ciertos asuntos en Sevilla, desde donde se gestionaba todo el negocio relacionado con las Indias Occidentales a través de la Casa de la Contratación y el Consejo de Indias.

Y que no tendrá Sevilla que parte de los miembros de la expedición se quedaron a vivir en una localidad cercana. Hoy en día, sus descendientes son todos aquéllos que llevan orgullosos el apellido Japón, por cierto muy común en esa localidad.

Como Alcalde de Sevilla, quiero animarles a seguir los pasos de sus antepasados. Sevilla les espera con los brazos abiertos para recibirles en una experiencia enriquecedora e inolvidable.

Son muchos los estudiantes extranjeros que eligen Sevilla para aprender o mejorar el conocimiento de la lengua castellana, pues la ciudad cuenta con una extensa red de centros especialmente dedicados a proporcionar una experiencia idiomática de calidad, única y diferente.

Sevilla se mantiene viva todo el año, con una continua oferta cultural, musical, deportiva y de ocio que invita a visitarla en cualquier momento, y descubrir en primera persona el verdadero atractivo que la ciudad encierra: en Sevilla nos encanta la gente.

Juan Ignacio Zoido
Alcalde de Sevilla

セビリヤの魅力はここに住む人々です。彼らは、開放的で、もてなし上手、そして一瞬一瞬を分かち合い、楽しむことを知っています。セビリヤは歴史、建造物や文化、そしてグアダルキビル川のそばに存在した様々な文明のつぼです。また、伝統的かつ近代的であり、出会いの場、共存と寛容が存在し、先が楽しみな将来性のある街でもあります。

スペイン第三の観光都市であるこの街を訪れた人々は、恵まれた気候、美食、素敵な街並み、伝統、そしてフラメンコを常を感じることでしょう。これらは世界中の人々を魅了しています。日本の侍、支倉常長も同様でした。ずっと昔、1614年のこと、日本からの使節団としてグアダルキビル川を通してセビリヤへやって来た際、彼もまた、この街に魅了されました。彼の使命はフェリペ三世に謁見するため、マドリッドに赴くことでしたが、その前にセビリヤでいくつかの事案を解決しなければなりませんでした。それは、セビリヤが通商院とインディアス枢機会議を通して西インド諸島に関わる全ての取引を管理していた都市だったからです。

その後セビリヤの近くの町に使節団のうち何人かが留まりました。今日、彼らの子孫は皆誇りを持ってハボンという姓を名乗っています。そういえば、その町では非常に一般的な名字なのです。

セビリヤ市長として、私は皆さんに先人達のようにこの街を訪れることをお勧めします。セビリヤでは、皆様にこの街で豊かで忘れられない体験をして頂けるよう、心よりお待ちしております。

この街には、上質で他では出来ないような留学経験を提供する教育機関が多く存在しています。それ故に、セビリヤは大勢の留学生から、スペイン語を学び、上達させるための留学先に選ばれています。

セビリヤは文化、音楽、スポーツやレジャーなど数多くのイベントで一年中活気づいています。是非、この街を訪れ、自分自身でこの街の魅力を発見して下さい。セビリヤ、私たちは人々が大好きなのです。

セビリヤ市長
フアン・イグナシオ・ソイド



¡VAMOS A CONOCER LA CIUDAD DE SEVILLA!

セビリヤの街を知ろう！

© Mapa y fotos cedidos por
la oficina de turismo de Sevilla



ESTACIÓN DE
SANTA JUSTA
サンタ・フスタ駅

LA CALZADA
ラ カルサダ

EL FONTANAL
エル フォンタナル



旧ユダヤ人街。
白い壁の家並みや、花で溢れる
美しいパティオなど、のんびりと
散策するにはピッタリのスポット。
レストラン、バルなども多くある。

BARRIO DE SANTA CRUZ
サンタ・クルス街

LA MACARENA
ラ マカレナ

BASÍLICA DE LA MACARENA
マカレナ教会



セビリヤ市民からの信仰が厚いマリア像が奉られているマカレナ教会。街の中心から少し外れた場所にあるが、宝物殿も併設されており、足を伸ばしてみる価値あり。

CENTRO
セントロ



世界で第3番目の大きさを誇る、スペイン最大のカテドラル。聖堂内部には、コロンブスの墓もあり、見所満載。ヒラルダの塔に登って、セビリヤ市内を眺めるのも良い。



闘牛の本場、セビリヤにあるマエストランサ闘牛場。内部には闘牛に関する博物館もある。春祭りの時期には十数試合にものぼる闘牛興行が開催される。

SAN BERNARDO
サン ベルナルド



1929年のイベロ・アメリカ
博覧会の会場として建設さ
れた半円形のスペイン広場。
スペインの各県にまつわる
美しいタイル画を見て回る
だけでも楽しい。

EL PROVENIR
エル プロベニル



様々な種類の植物が生い茂
る緑豊かで広大なマリア・ル
イサ公園。観光客だけでなく、
セビリヤ市民の憩いの場。
スペイン広場はこの公園の
内部にある。

PLAZA DE ESPAÑA
スペイン広場

PARQUE DE MARÍA LUISA
マリア・ルイサ公園

UNIVERSIDAD DE SEVILLA
セビリヤ大学

REALES ALCÁZARES DE SEVILLA
アルカサル



アルカサルは14世紀後半に
建築された、ムデハル様式の
宮殿。イスラムの影響を強く
感じる宮殿内部の装飾も美し
いが、アラブ風のエキゾチ
ックな庭園も必見。



もともとは、たばこ工場とし
て建設された建物だが、現在
はセビリヤ大学法学部の校
舎として使われている。オペ
ラ、『カルメン』の勤め先のモ
デルと言われている。

CATEDRAL DE SEVILLA
セビリヤ大聖堂

ARCHIVO GENERAL DE INDIAS
インディアス古文書館



スペインとその植民地の歴
史に関する重要な資料が収
蔵されているインディアス古
文書館。コロンブスの直筆原
稿なども収められている。
1987年に世界遺産に登録。

TORRE DEL ORO
黄金の塔



グアダルキビル川沿いに佇
む黄金の塔は、その昔セビリ
ヤへ侵入する船の見張り台
として使われていた。
現在では、海の博物館になっ
ている。



FERIA DE ABRIL
春祭り会場

毎年4月に約1週間行われる
セビリヤの春祭り。
美しい衣装に身を包んだ人
々が、歌い、踊って楽しむ、ア
ンダルシアらしい華やかな行
事が行われる会場。

PLAZA DE TOROS DE LA MAESTRANZA
マエストランザ闘牛場

TRIANA
トリアナ



LA FERIA DE SEVILLA

セビリャの春祭り

La feria de Sevilla es una fiesta de toda la ciudad. Durante una semana, en el mes de abril, todos los años los sevillanos viven un ensueño en el que se mezcla el deseo de disfrutar de los sentidos a través del baile, el cante, el vino... con el encuentro con los amigos y la familia. Es una fiesta para todas las edades y clases sociales y con una marcada presencia de los roles masculino y femenino.

La feria, que tiene su origen en un mercado feriado de ganado, propio de una sociedad agraria, ha ido evolucionando hasta convertirse en una celebración masiva y en una seña de identidad de la ciudad de Sevilla. Probablemente esta raíz rural se refleja en la presencia activa que tienen los animales en la feria. Durante ésta se exhiben las familias con los caballos y carruajes de tradición rural y también se celebran las corridas de toros en la Maestranza.

Otra peculiaridad de la fiesta es su marcado carácter efímero. Se monta una pequeña ciudad, con sus casetas de lona, que son las casas en las que se recibe a amigos y conocidos, sólo para seis días. En la feria se recupera lo más antiguo: la tradición del cante, del baile, de las vestimentas, del vino y la comida compartida con los amigos, con lo más actual: un ambiente trepidante en el que nada invita a la pausa y en el que todo facilita la conversación chispeante, la expresión corporal del baile flamenco, el lucimiento de la simpatía y el carácter abierto y alegre de los andaluces.

Todo este escenario festivo aparentemente espontáneo y permisivo está sometido a un protocolo muy estricto en el cual cualquier falta de cortesía o presentar un estado de embriaguez es rechazado por la comunidad. En definitiva, una fiesta ritualizada y anárquica, popular pero también aristocrática, la misma y distinta cada año, como la propia vida.

María José Valpuesta

セビリャの春祭り(フェリア)は毎年4月に一週間にわたり、町を挙げて催されます。人々は友人や家族と会い、踊り、民謡(カンテ)、ワインを通して楽しみたい、感動したいと願いながら過ごします。この祭りは全ての年齢層や社会階層のためのもので、伝統的な衣装を身にまとった男性や女性の姿が目にとまります。

春祭りは元々、農業・牧畜社会に特有の家畜の見本市が起源でした。それが徐々に変化し、セビリャらしさを特徴づける大規模な催しになりました。おそらく、春祭りの中で動物の存在が目立つのは、祭りの起源によるところが大きいでしょう。祭りの間、町の人は馬や、伝統的な馬車に乗り、またマエストランサ闘牛場では、闘牛が行われます。

この祭りのもう一つの特徴は、「つかの間の町」です。会場内には、布で作ったカセタ(caseta)という仮設小屋でできた町が現れます。カセタは、友人や知り合いを招待するために6日間だけ設置されます。祭りでは昔のもの(伝統的なカンテ、踊り、衣装、ワイン、食事)が再現されます。その中で友人と絶え間なくおしゃべりをし、フラメンコを踊り、アンダルシア人の陽気で開放的な性格が人々を魅力的に輝かせ、会場を熱狂の渦で満たします。

この祭りの雰囲気全体が一見自然発生的で寛大に見えますが、コミュニティによる非常に厳格なしきたりにより、いかなる無礼な振る舞いも酔酩も許されていません。つまるところ、フェリアは気ままなようにみえて習わしのある、庶民的であると同時に上品な祭りです。毎年同じように年々形を変えるこの祭りは、まるで人生そのものを表現しているかのようです。

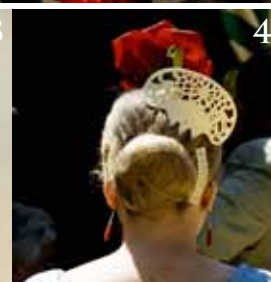
マリア・ホセ・バルプエスタ



María José Valpuesta

マリア・ホセ・バルプエスタ

1955年セビリャ生まれ。歴史学教師。現在は、セビリャのサン・フアン・デ・アスナルファラチェにある、セベロ・オチョア高校の副校長である。



1. Portada (ポルターダ)と呼ばれる入場門。2. 春祭り会場に立つ仮設小屋、Caseta(カセタ)。3. 2013年の春祭りのポスター。デザインは毎年変わる。4. クラシックな衣装に合わせたヘアスタイルも美しい。5. 色とりどりの衣装に身を包んだ女性達。形も色も様々で、見てただけで華やかな気分になる。6. 会場内では、馬や馬車に乗った人が多く見受けられる。7. 会場にはCasetaが立ち並び、たくさんの人が行き交う。さながら一つの街のようだ。